



認定 NPO 法人ヤングカレッジ

平成 26 年度 事業報告書

| ごあいさつ 団 体概要 沿革 | P. 02 P. 03 P. 04 |
|---|----------------------------|
| 平成 26 年度事業報告 私たちの取り組み ・教養講座 H26 前期・後期 教養講座 ・文化・教育事業 セミナー26A セミナー26B | …P. 05 …P. 06 …P. 07 |
| セミナー26B セミナー26C セミナー26D ・ 交流事業 創立 10 周年記念イベント 男女交流イベント 慰問交流会 | …P. 09 |
| 第一期 組織改編スタート 主な取り組み | …P. 11 |
| 三つの行動指針 過去の主な事業 文化交流 | …P. 13 |
| スポーツセミナー/健康セミナー 政治セミナー/経済セミナー 上映会&トークショー/防災セミナー 国際交流 地域交流/世代間交流 後援会会員の皆様へのお礼 活動へのお誘い/編集後記 | …P. 20 …P. 21 |



理事長 桑添玲子 (楽しいやきもの教室講師 兼任)

ヤングカレッジは創立以来「若者の交流の場」の創出と「未来のまちづくり」 に貢献する事を目指し活動を続けて参りました。これまでの10年で恒例の事業や人気のある企画が定着し活動の基盤が出来てきたと思います。

この活動は市民をはじめとする行政や市内企業の皆様のご支援と、ボランテ

ィアとして協力してきた人々の努力により成立しています。人が 集まれば様々な思いやアイデアが出ますが、意見の相違もありま す。私たちが多くの紆余曲折を乗り越えて学んだことは、切磋琢 磨し合える「仲間」の存在が必要だということす。この経験をも とにヤングカレッジを仲間と共に成長し合える魅力のある「場所」 にしていきたいと思います。

これからも私たちの活動に興味を持って下さる方々と共に、国籍や世代を越え、この町とこの地域に住む人たちの豊かな未来に繋がる活動を継続していきたいと思っています。

団体概要 (2015年4月現在)

■名称 認定 NPO 法人ヤングカレッジ

■認定番号 25 静生市参第 3037 号 (2014.1.23 取得)

■理事長 桑添玲子

■設立 2005年4月

■事務局 静岡市清水区船原二丁目125番地

■URL http://www.yankare/com

■組織 理事長 桑添玲子

副理事長 真田篤 森義快

理事 遠藤安菜 吉田重文 津島裕子

前田みどり 南條亜紀子 平野貴也

監事 岩城喜久代

収入推移

支出推移





「任意団体ヤングカレッジを創立」活動をスタート

- '05.04 清水勤労青少年ホームの廃止を受け、存続を求める市民が集まり任意団体 ヤングカレッジを創立
- '05.04 伝統文化や語学学習、趣味などを愉しむ教養講座を開講。初年度は全12講 座、受講生約200名でスタート。
- '05.07 教養講座受講生を中心に、若者と高齢者とがふれあう慰問交流会を開始。
- '06.04 旧清水市 国際交流協会の助成金取得。国際交流事業がスタート。
- '06.08 地域交流イベントとして、興津川上流西里キャンプ場で第1回 サマーキャン プを開催。地域の若者を中心とした総勢350人が参加。
- '06.12 市内で働く外国人約50名を招き第1回 国際交流イベントを実施。各国民族 音楽の演奏等もあるクリスマスパーティを開催。総勢約150名。

2007£ ~2013年

「特定非営利活動法人ヤングカレッジ」として様々な事業を展開

- '07.01 NPO法人格を取得し、「特定非営利活動法人ヤングカレッジ」となる
- '07.03 静岡市商業労政課と委託契約を締結。市民向けセミナー事業を本格的に スタート。
- '07.10 清水ふれあいホールにて、第1回健康セミナーを実施。参加者約150名。 講師はNHKみんなの体操の体操指導者
 長野信一氏。 すんぷ夢ひろばにてチャリティバザーを開催。社会福祉団体に寄付。
- '08.10 専門家を招いた経済セミナーを開催。1回目講師は日銀静岡支店長 武藤氏。
- '11.05 話題作「442」の上映会をサールナートホールにて実施。すずきじゅんいち監 督・榊原るみ夫妻も招き、映画を通して日本人について考えるイベントを実施。
- 11.07 専門家を招いた防災セミナーを開催。大木聖子東大助教から地震の仕組み や対処法を学び、日頃の備えや、家族の安全について考える事業を実施。
- 12.05 地元企業との共催で公開講座を実施。はごろもフーズ株式会社様にご協力 頂き災害時にも役立つ時短メニューを一般市民と共に学習。
- 13.09 美濃輪稲荷復興祈願イベントを開催。火災に見舞われた地元美濃輪稲荷神 社に立川左談次・龍志を招いて落語で日本の心を学びながら復興祈願。

静岡で第1号の認定NPO法人に認定。「認定NPO法人ヤングカレッジ」となる

- '14.01 静岡市より認定NPO法人に認定を受ける。(25静生市参第3037号)
- '14.05 **創立10周年記念イベント**「Let's Riseしずおか」を開催。"つなげようヒトとヒト" をテーマに2000人を超える市民との文化・地域・国際交流イベントを実施。



自然の中で環境問題を考える



元西武ライオンズ石毛宏典氏 を招いてのスポーツセミナー



「開講式」25講座開講 約260名が受講



「慰問交流会」受講生 によるフラダンスの実演



「Let's Riseしずおか」 来場者と一体となって 踊った港かっぽれ

私たちの取り組み



副理事長 真田篤 かっぽれ教室講師/主に事業を担当

認定 NPO 法人ヤングカレッジは、若者に交流と活動の場を提供し、相互・世代間交流、地域交流、国際交流を深めると共に、事業を通した人材育成や地域の活性化を図ることを目的とした NPO 法人です。

平成 26 年度も年中行事である教養講座の他、「世代間交流」「地域交流」「国際交流」などをコンセプトとした一般市民向けの事業を実施しました。

特に 5 月には創立 10 周年を記念した交流イベントを実施し、10 月にはホームページの全面リニューアルなど、事業の開催のみならず団体活動の公開にも力を入れました。

また、私たち自身も理事会や運営委員会を組織しての協働作業を通して様々なスキルを磨き、幅広い人間関係の中から多様な価値観を知り、人との関係性の中で自分の役割というものを学んでいます。

平成 26 年度の主な活動

2014年

4月 第10期スタート

「H26 前期教養講座」開始

平成 26 年度 運営委員会

5月 第1回講師会

創立 10 周年記念「Let's rise しずおか」

6月 平成26年度総会

26A セミナー「ブータンから学ぶ幸せのかたち」

- 7月 第1回理事会
- 8月 みなと祭り総踊り参加
- 9月 第2回理事会

26B セミナー「Color が変える!自分・生活・ビジネス」

10月 「H26後期教養講座」開始

第1回スイーツ交流イベント

11月 第3回理事会

第2回講師会

26C セミナー「金融経済情勢と金融政策」 清水市民活動センター周年事業 パネル展示

12月 第2回スイーツ交流イベント

2015年

1月 **第4回理事会**

経営推進委員会 発足

2月 第10回慰問交流会

第3回スイーツ交流イベント

26D セミナー「共稼ぎ夫婦で超かんたん!栄養満点料理!!」

3月 第5回理事会

平成 26 年度事業終了

■ 教養講座

設立当初より運営している教養講座は、前身である勤労青少年ホームの活動主旨を引き継ぎ、交流の 場の創出を第一の目的として、短期・単発での講座は設けず半年を単位とした運営をしています。

また、講師の方々にもボランティア精神を持って頂き、受講生が参加しやすいよう受講料をかなり低く設定すると共に、講師や生徒による懇親会やサークル活動などを推奨しています。講座を通じて知り合った人々による様々な事業展開を後押ししています。

平成26年度『教養講座』(前期·後期)

実施日:前期4月~9月/後期10月~3月

場 所:清水区内の各生涯学習交流館

参加者:前期20講座212名/後期19講座200名

本年度も伝統文化である着付けや陶芸をはじめ、語学やフラ、お菓子作りなどの多種多様な講座を開講しました。講師や生徒同士が交流会を開いたり、身に付けた技能を活かして地域のイベントに参加したりと、講座を通して幅広い活動にも繋がっています。

平成 26 年度 教養講座

| | 講座 | 講師 |
|---|---------------|----------------|
| 月 | Go!Go!やさしい英会話 | アンナ遠藤 |
| | 癒しのヨガ(月) | 小和田基里子 |
| | らくらく韓国語 初級 | 金 福 姫 |
| | 初めてのフラ | 町茂美 |
| 火 | 旅行で使える中国語 中級 | 徐躍敏 |
| | やさしい革の手縫い | 花田佳明 |
| | トークタイム英会話 | アンナ遠藤 |
| 水 | 初めての韓国語 | 金福姫 |
| 5 | 初歩からのオカリナ | 加藤成男 |
| | リラックスヨガ | 白井千尋 |
| | 着付け(女性のみ) | 亀 谷豊鏡•他 |
| | 表千家 茶道のい・ろ・は | 南條亜紀子 |
| 休 | 楽しいやきもの | 桑添玲子 |
| | 簡単おうちスイーツ | 後藤久美子 |
| | ギター・ウクレレ弾き語り | 今村敏雄 |
| | 癒しのヨガ(金) | 小和田基里子 |
| 金 | かっぽれ | 櫻川梅清士 |
| | 英会話パワーアップ | アンナ遠藤 |
| 土 | キッズ英会話(6~10歳) | アンナ遠藤 |



着付け教室



キッズ英会話



簡単おうちスイーツ



癒しのヨガ



イベント参加風景 (初めてのフラ)



打ち上げの風景 (楽しいやきもの)

■ 文化・教育事業

静岡市は市民活動の盛んな街として全国に知られていますが、反面若者の活動は年々減少しており、 自治の継承が懸念されています。その為、この町に住む人々が社会や社会活動への関心を深める為のセ ミナーを年四回実施していいます。

今まで、若者が中心となり「政治」や「経済」をテーマにしたシンポジウム、「日本人の心」を深く考える映画の鑑賞会や落語の聴講、元プロ野球選手を講師に迎えたスポーツセミナーなど、様々なセミナーを企画・運営してきました。

やんかれセミナー26A

「プータンから学ぶ幸せのかたち」

実施日:平成26年6月22日(日)

場 所:静岡市清水市民活動センター

講 師:平野信也氏(元 SBS 静岡放送局・

JICA シニア海外ボランティア)

参加者: 42名



若い世代に、広い視野と異文化への関心を深める機会を持って頂きたいと考え、JICAのボランティアスタッフとしてブータン国営放送技術局に赴任されていた平野氏をお招きし講演頂きました。資源的には決して豊かとはいえないブータン王国における、日本とは大きく異なる幸せの価値観について現地での2年間の生活体験を通して感じた事をお話頂きました。講演後には多くの質問が飛び交い、異なる文化への関心の高さを確認できました。

<u>やんかれセミナー26B</u>

「Color が変える!自分・生活・ビジネス」

実施日: 平成 26 年 9 月 20 日 (土)

場 所:江尻生涯学習交流館

講師:永廣悦子氏(パーソナルカラーコンサルタント・

福祉住環境コーディネーター)

参加者:46名



一昨年開催し、好評だったカラーコーディネイト講座を実施しました。今回は特にビジネスの現場でも生かせる色の使い方にテーマを絞り、パーソナルカラー(自分の肌に一番似合う色)を分析しながら、相手に好印象を持たせる色使いの

ポイントをご指導いただきました。現代の若者が如何に人との関わりを 大切にしながら身なりに気を使っているのかを知る機会にもなりまし た。



2014.09.21 静岡新聞より

やんかれセミナー26C

「金融経済情勢と金融政策」

~日銀が考えていること、私たちがこれから考えていくこと~

実施日: 平成 26 年 11 月 9 日(日) 場 所: 清水産業・情報プラザ

講 師:服部守親氏(日本銀行静岡支店長)

参加者:30名



日々の生活や目標、世の中の仕組みについて考える経済セミナーを開催しました。今回は経済の最前線でご活躍されている服部日銀静岡支店長をお招きし、金融政策や静岡の産業振興事業についてご講演頂きました。豊富な資料を使った解説に参加者からは非常にわかりやすくためになったと好評でした。次回も開催して頂きたい声も複数頂きました。

<u>やんかれセミナー26D</u>

『共稼ぎ夫婦で超かんたん!栄養満点料理!!』

実施日: 平成27年2月20日(金)

場 所:有度生涯学習交流館

協 賛:はごろもフーズ株式会社様

参加者:48名



はごろもフーズ株式会社様にご協賛いただき、"忙しい共稼ぎ夫婦を助ける簡単で栄養満点な料理"をテーマとした料理教室を実施しました。

保存食のイメージの強い缶詰やレトルト食材が簡単で美味しい料理になる事を実感して頂けたようで、参加者から「明日家族に作ってみます。」と声をかけて頂く事が出来ました。今回のセミナーをとして、参加者同士の交流にもな

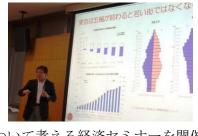
り、忙しい日々の中で、"家族とふれあう時間づくり"の助けになったと思います。

VOICE 事業への参加、協働事業のご提案・お誘い

これからこの国を支えていく若者には、リスクを伴った挑戦を支える安心して還れる場所、利便性や快適さではなく承認を受けて幸せを実感する場所が益々必要となってきています。

私たちは、これからも**交流と挑戦を生み出すプラットホームとして**、様々な事業を通した「人づくり」と「まちづくり」を続けていきたいと考えています。

私たちの活動にご興味を示された方は、是非ともご連絡下さい。**事業への参加や協働事業のご提案**を心よりお待ちしております。



■ 交流事業

当法人では、携帯電話やパソコンなどの画面越しではなく、生身の人間を相手にしたコミュニケーションを大切しています。

教養講座やセミナー以外にも様々な事業を行い、交流やふれあいの場を提供しています。その中で、 多くの人に参加・企画・運営等様々な形で関わって頂く事で、広い意味での「コミュニケーション能力」 のある人材を育成し、地域社会に貢献し続けようとしています。

レッツライズしずおか(創立10周年記念)

実施日: 平成 26 年 5 月 25 日(日) 10:00~17:00

場 所:エスパルスドリームプラザ 1Fスクエアホール

人 数:出演者・スタッフ約50名 / 参加者約800名 ゲスト:おぼん★こぼんさん、ビックボーイズさん他



創立 10 周年を記念し「つなげよう!ヒトとヒト」をテーマに、"地域交流" "国際交流" "世代間交流" を目的としたイベントを実施しました。

教養講座受講生の発表のみならず、このまちに 暮らす海外出身者や、地元の伝統芸能保存会、踊り サークルの皆様などにご出演頂き、来場された大 勢の市民の方々と共に楽しめる盛大な交流イベン トになりました。





Schedule

【第一部】笑いでつなぐヒトとヒト Part. I

実演:但沼親王囃子(静岡市指定無形民俗文化財)浸す:ビックボーイズ/おぼん★こぼん

【第二部】やんかれがつなぐヒトとヒト

講座発表:ギター&ウクレレ/オカリナ/

かっぽれ/フラダンス

教室紹介:講座紹介&フリートーク

【第三部】笑いでつなぐヒトとヒト Part.Ⅱ 漫 ォ : ビックボーイズ/おぼん★こぼん

【第四部】世界につなぐヒトとヒト

民俗舞踊:インドネシア/韓国/フィリピン他

着付け : 着付け教室講師



男女交流イベント

『Happy スイーツ de 友活・恋活・婚活』

実施日:10月18日(土)、12月14日(日)、2月8日(日)

場 所: 有度生涯学習交流館、岡生涯学習交流館

参加者: 42 名

教養講座の講師に協力頂き、若い世代に人気の「ハロウィン」・「クリスマス」・「バレンタイン」のイベントに合わせた婚活イベントを行い、男女がそれぞれペアとなりスイーツ作りを楽しみました。スイーツ作りの前後には、アピールタイムなどの交流時間もあり、終始和気藹々と賑やかなイベントとなりました。参加者からも大変好評で、スタッフも手応えを感じています。







第10回「慰問交流会」

実施日:平成27年2月1日(日)11:00~16:30 場 所: 老人ホームシンシア清水、オアシス入江

参加者: 180名

出演:かつぽれ教室、フラ教室

ゲスト: 青空うれしさん、すず風にゃん子・金魚さん、

協 力: 望月榮次さん(末廣鮨)





毎年実施している市内老人ホームでの慰問交流会は今回で 10 回目となりました。教養講座の受講生が日頃の学習成果を披露し、お年寄りと一緒になって交流を深めたり、浅草大御所芸人の漫才で腹を抱えて大笑いしたりと笑顔の絶えない楽しい一日となりました。施設で過ごされている皆さんからは「毎年楽しみにしているよ」との声を頂き、出演者もスタッフも大いに励まされています。

TOPIC

慰問交流会では、なんとあの末廣鮨さんが!



毎年行われている慰問交流会では、静岡を代表し全国でも名の知られた 末廣鮨様にご協力頂いております。

望月親方自らが忙しい合間を縫って、施設の皆様一人ひとりにお寿司を 握って下さり、施設の皆様も満面の笑みでそれを頬張っております。

望月親方、いつも本当にありがとうございます。

【第一期 組織改編スタート】

ヤングカレッジは、2014年1月23日に静岡県第一号の「認定NPO法人」となりました。これを励みとして更なる活動の充実を目指すと共に、これからも公平公正な組織運営を目指し努力して参ります。

■創立者より理念を学ぶ

組織として活動するには、目指す姿に向かって価値を共有し、各々の役割を認識し行動出来る体制を整える必要があると考えました。

これまで熱い想いと行動で団体を引っ張ってきた創立者から、直接設立のきっかけからこれまでの活動遍歴、その時の考えなどを詳しく伺い、それを言語化する事に努めました。

■組織の歴史を知り沿革を作成

保管してあった書類や電子データ・写真・ プレスリリース等に目を通し、それを整理 して団体の沿革を作成しました。

こうした作業を通し、内外に過去の活動 について説明する事が出来るようになると 同時に、団体理念や活動の一貫性を確認す る事にもなりました。

■業務変革への取り組み

具体的な業務に関しても、見直せる部分から取り組みを始めています。2014年4月

主な取り組み (2014.01~2015.04)

2014.01 書類・データの整理を開始

2014.02 理事会運営の見直し

2014.04 団体ロゴの変更

会計システム導入

2014.08 沿革の作成

2014.10 ホームページの全面リニューアル

2014.11 新規事業の検討

2015.01 経営推進委員会の設立

2015.02 活動報告書作成

2015.03 業務依頼システムの試験運用

2015.04 行動指針の設定

には会計ソフトを導入し、収支の内訳や推 移、財務三表を随時確認・共有可能にすると 共に、業務の効率化に取り組んでいます。

また、現状偏りのある業務も、なるべく理事やスタッフに分配出来るよう業務依頼システムを考案し3月より試験導入、広く協力が得られるような体制の整備に努めています。

■経営推進委員会の設立

2015年1月の理事会で経営推進委員会の 設立を決議しました。2013年冬より続けて きた、団体理念の理解や浸透、業務変革を行 う正式な組織となります。

これからもヤングカレッジが社会に対して広い視野と問題意識を持ち、その役割や活動内容を検証し、適切な団体変革や活動推進を行う中心機関として機能していきます。

■行動指針の設定

理念や想いだけでは何の貢献も果たす事 は出来ません。また、行動する中での理解や 気づきも不可欠であると考えられます。

その為、この一年その理解や整理に努めてきた団体理念や目的に基づき、適切かつ成果に繋がる行動がとれるよう、行動指針を策定しました。

【詳細は次ページ→】



副理事長 森義快 主に財務・広報・組織改編を担当

三つの行動指針

ヤングカレッジは、交流と挑戦を生み出すプラットホームとして、 様々な事業を通した「人づくり」と「まちづくり」を続けていくため、 以下の行動指針を設定しています。

①自分の事として考えてみる

一見、"他人事"と思えるものを"自分の事"として考える事で、自分とは異なる価値観を受け入れることが初めて可能になります。

多種多様なメンバーと協働してより大きな成果を上げる為に、他人事に思えることを"自分事化"して物事に取り組みます。

②周りを巻き込む

自分一人、一つの団体の努力では限界があり、周囲の協力を得られなければ種々の問題を解決する事が出来ません。

多くの人を巻き込んで互いに協力し合い、協働の大切さと楽しさを通 してより大きなアウトプットを目指します。

③成果を共有する

協働にあたっては"目的"だけでなく、その"成果"や"過程"を共有する事により、次のよりよい活動に結びつける事が大切になります。

成果を共有し、更に目標に対する効果を評価・確認する事を通して、自 分たちの客観化や自己変革にも繋げていきます。

■ホームページの全面リニューアルのお知らせ



平成 26 年 10 月に、ホームページを全面的にリニューアルしました。セミナー等の「事業案内」のほか、「私たちの活動目的」や過去の「プレスリリース」や「活動報告」も掲載しました。また、Facebook との連携もしております。是非一度ご覧下さい。

URL http://yankare.com

過去の主な事業(2005~2014)

·文化交流

ヤングカレッジは教養講座講師の協力によるイベントや、創業者と交流のある伝統・芸術・文化に携わる方々をお招きし、日本文化への理解につながる活動を展開してきました。

2013年には地元清水の次郎長ともゆかりもあり、本殿が全焼した美濃輪稲荷神社で「復興祈願イベント」を実施しています。



2013.9.1 静岡新聞より



立川左談次師匠・立川龍志師匠



「清水とお江戸の おだっくい」 櫻川ひん助師匠・櫻川梅清土さん







2008. 6. 24 静岡新聞より

・スポーツセミナー/健康セミナー

ライフスタイルの変化や、運動不足、日頃の ストレス等の社会問題にも目を向けていま す。

将来にわたって、若々しく健康的な生活を 送る為の運動習慣を身に付けてもらおうと、

様々なゲストを 招いて健康セミ ナーやスポーツ セミナーを実施 しています。



法人ヤングカレッジは29 青空うれしさんと西武ラ 好きといわれる漫才師の 元西武石毛さんら イオンズ黄金時代の主力 手、石毛宏典さんを招 青空さんと石毛さんは 静岡市清水区のNPO 芸能界きっての野球 ロ野球選手はもっとアマ 球論を語り、「現役のプ 先輩からマイクを手渡さ なども披露した。 付けた。最後は2人の掛 チュアの育成のために力 れた石毛さんは自らの野 「きょうの主役」

2009.12.1 静岡新聞より

2









2007. 9. 29 ベイプレスより

「楽しく働くために」

長野信一氏 (NHK みんなの体操)

・政治セミナー/経済セミナー

自分たちの社会と、私たちがどう関わるか といったテーマへの取り組みも忘れていませ ん。経済の最前線でご活躍されている日本銀 行静岡支店長をお迎えして経済の現状につい てご教授頂いたり、市長や議員を招いてのシ ンポジウムや討論会を開いたりしています。

以前から「若者の政治離れ」や「政治意識の 希薄化」が叫ばれています。しかし、事業の実 施によって、政治や経済への関心が深い若者 が大勢いる事が分かり、その意義を見直すき っかけとなりました。



静岡市とNPO法人 やングカレッジ(同市) はこのほど、地域で活動 する20~30代の若者の 代表と田辺信宏市長が市 の未来像について語り 合う「市長と話そう!ま ち・ヒト・未来サミット」を同市清水区の市 清水市民活動センターで 開いた。 開いた。 開いた。 開いた。 開いた。

素り実行委おどり部会の 祭り実行委おどり部会の 祭り実行委おどり部会の 別れた。 3人はそれぞれの立場 から、「若者が交流できる場を」「清水駅前にサッカーとちびまる子ちゃんの街と印象づける物をしながえるすちゃんの街と印象づける物をしたがまる子ちゃんは重要なコンテンツだ」「みなどと応じた。 交流会も開かれ、参加でなどと応じた。

2011.12.1 静岡新聞より





秋山修氏 日本銀行 静岡支店長(当時)





静岡

清水区市長と若者が交流

・上映会&トークショー

ヤングカレッジは地元の活性化を目的 に活動しつつも、幅広い視野から自分た ちを見つめ直すことも大切と考えていま す。

第二次大戦中の日系アメリカ人の苦悩を描いたドキュメンタリー映画を通して、日本が戦後、戦争という記憶と共に消してしまった日本人の美点について学 ぶ機会を設けました。





2011. 4.9 リビング静岡より





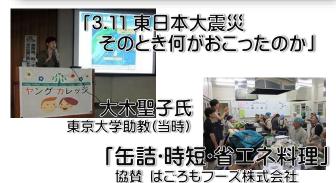


東日本大震災のメカニズム や東海地震への備えを解説する大木助教―静岡市清水区の 岡生涯学習交流館

や写真を使い分かりやす く説明した。M(マグニ く説明した。M(マグニ となった背景について、 ここまでの広い震源が考 慮されていてもM8・3 程度と考えられただろう」と地震学者の常識を 上回る"想定外』の規模 だったと語った。 東南海、南梅との3連 動地震の可能性もある東 がたと語った。

防災セミナー

静岡に住む私たちにとって地震は身近な存在です。地震災害について学ぶセミナーや、災害時に役立つ保存食料理を使ったイベントも開催しています。



- 17 -

•国際交流

みなと町として発展した清水では、多くの 海外出身者が暮らしています。ヤングカレッ ジでは、多文化共生を目指しこの町で暮らす 市民と外国人との繋がりを生む為、様々な事 業を展開しています。







~who's your valentine?~





2009. 2.10 静岡新聞より

•地域交流/世代間交流

人口流出傾向にある静岡市では、若い 人が地元に戻り、まちづくりに参画した くなるような雰囲気作りが大切です。

また、本格的な高齢社会に突入してい る日本において、世代間交流を通した相 互理解も大切と考えた事業展開を続けて います。 2007.8.22 静岡新聞より



身近な環境問題考える 清水区のバーベキュー大会も



新鮮野菜を味わった。 外国人に母国での生活 の焼き肉などのほか、 の様子を聞くなど、 と話した。 し楽しいひとときを過ご とがあると思った」など いて、自分にもできる。 静岡市清水区の興津川 開会の国際パーベキュー= バーベキューでは定器 パーペキューの話を 環境問題を考えた青空に 「環境に優」

いきいき明るい笑顔 の交流会 NPO法人ヤングカレッジシンシア清水を慰問



を目指すヤングカレッ では、5月に映画セップでは、5月に映画セップでは、5月に映画セックのは、5月に映画セックのは、5月に映画セックのは、5月に映画セックでは、5月に映画セックでは、5月に映画セックでは、5月に映画セックでは、5月に映画セックを表現している。 上映 5月22日(日)/ ゲスト:すずきじゅん

さらにゲストの鯉川の 笑顔の絶えない時間を 、集まった皆さんは

付き有料老人ホーム・シンシア清水(駒越法人ヤングカレッジ。2月13日(日)に介護機の若者が中心となって設立した、NPO 西)で慰問交流会を開催し、踊りやマジック

「交流会は今年で3 と話す桑添玲

2011.3.15 シミズ毎日より

から 『若い人たちが来

惠

の握りずし。

てくれて楽しい』とい

と読み聞かせ」 榊原るみ さん

小学校低学年向けに絵 榊原るみさん紹介 10日、女優の榊原るみ(桑派玲子理事長)は れセミナー」を同区の さんを招いた一やんか いる榊原さんが「私と「子供のストレスを解ぎ ひ法人ヤングカレッジ 静岡市清水区のNP 清水区 る「ボイスシップ ての安らぎになる」 る以上に、子供にとっ せは子供を本好きにす 榊原さんは「読み聞か 特に夜は、肉声では

心の種になったという 読んでもらったことが ね」を家族に繰り返し 読み聞かせ



来場者の笑い誘う

2013.11.1

は特に仕事が多忙で、 ることができなかった 読み聞かせで子育てを 父母や地域の皆さんが という。機原さんは「若 十分に読み聞かせをす 心機してほしい いお母さんは何かと大 ただ、長女の幼児的 そんな時ごそ、祖 静岡新聞より 関育学育職事業 やんかれセミナー 三球の人生いろいろ 講師 春日三球







2007.10.29 静岡新聞より

ほどき、リラックスし

た眠りに導くと効用さ

後援会会員の皆様へのお礼

新緑の候、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃より認定 NPO 法人ヤングカレッジへのご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。平成 27 年度にヤングカレッジ後援会にご継続・ご入会頂いた皆様におかれましても、心よりお礼申し上げます。

お陰様をもちまして、平成 26 年度もヤングカレッジは様々な事業を展開する事が出来ました。このたび、ご支援頂きました皆様へ私たちの活動内容をご報告すべく、設立から 10 年の歩みを含む「平成 26 年度活動報告書」を作成いたしました。

本年度も皆様のご期待に添うべく、更なる活動の充実と拡大を目指し、役員一同努力 を重ねて参る所存であります。どうか、これからもご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い 申し上げます。

■ 平成 26 年度 ヤングカレッジ法人後援会会員(後援会登録番号順)

| はごろもフーズ 株式会社 | 清和海運 株式会社 | 木内建設 株式会社 |
|-------------------|------------------|------------------|
| 協立電機 株式会社 | 菱和設備 株式会社 | 株式会社 タイカ |
| 株式会社 TOMONO | 株式会社 静岡銀行清水支店 | 株式会社 清水銀行清水支店 |
| 静清信用金庫 | 鈴与ホールディングス 株式会社 | 静岡ガス株式会社 静岡支社 |
| 伊藤商事 株式会社 | 有限会社魚河岸しみず・マルイチ | 介護付有料老人ホームシンシア清水 |
| 株式会社 薩川組 | 株式会社 古川組 | 株式会社 なすび |
| 株式会社 やすい軒 | 株式会社 大和文庫 | クミアイ化学工業 株式会社 |
| 清水運送 株式会社 | 清水シティホテル・村上産業(株) | 大甲自動車工業 株式会社 |
| 社会福祉法人清水双葉会 矢部保育園 | 中国料理 盛旺 | フジ日本精糖株式会社 清水工場 |
| ヤマダユニア 株式会社 | セントラルサービス 株式会社 | 株式会社 ベイプレスセンター |
| 株式会社 ユーマート | 東海溶材 株式会社 | 巴包装 株式会社 |
| 株式会社 オアシス | 株式会社 トコちゃんねる静岡 | 夏目電気工業 株式会社 |
| 靜甲 株式会社 | 南條工業 株式会社 | 駿河包装 株式会社 |
| 大日工業 株式会社 | 中央静岡ヤクルト販売 株式会社 | 英会話アンナ ABC |
| 松韻窯陶芸クラブ | 健精楽せらヨガ | ママ ホクラニ |
| コスモハイツ | | |

■ 私たちと一緒に活動を盛り上げてみませんか?

・教養講座やセミナー等のイベントへの参加をお待ちしています

私たちの実施している事業に参加し、楽しみながらその活動に触れてみませんか?また、こうした活動に興味のある方をご存じでしたら是非ともお伝え下さい。

・イベントの企画・運営に興味のある方、お気軽にご連絡下さい

現在ヤングカレッジは、受付窓口などの業務以外のすべてを理事や講座講師によるボランティアで運営しています。運営スタッフとして私たちと一緒に楽しく活動して頂ける方を募集しております。

• 情報管理や市場調査、広報活動などのご経験や知識をお持ちの方、是非とも お力をお貸しください

公平公正な組織運営や広報活動を目指しておりますが、業務に専従できないこともありその範囲と速度に限界も感じております。実務に限らずその知恵や経験を活かしてご支援・ご協力頂ける方を募集しております。ご連絡を心よりお待ちしております。

編集後記 (編纂人 森義快)

ヤングカレッジの「平成 26 年度事業報告書」をご覧いただき、ありがとうございました。 私とヤングカレッジとの関わりはおよそ 10 年前、創立者の寒河江先生との出会いにより始まりました。その後しばらく静岡を離れておりましたが、一昨年冬より改めて運営に携わることとなりました。

この一年、予期せぬ出来事の連続でしたが、 多くの方々のご支援ご協力をいただき乗り越 える事ができました。ここに改めてお礼申し 上げます。

本報告書では、年次報告に加え団体沿革や活動主旨、過去の事業も掲載致しました。これを編纂するきっかけは、団体の創立者である寒河江先生の理念や業績を伝えられるものがなかったためでした。

本誌を通して、これまで活動を続けてきた 人々の努力や、それを支えて下さった関係者 の方々の想いが皆様に届けられれば幸いです。



2015.2.1 慰問交流会の打上げの様子。創業者寒河江 英明氏とご友人青空うれし師匠とご一緒に。

ヤングカレッジの「平成26年度事業報告書」へのご意見・ご感想をお聞かせ下さい

本報告書についてのご意見・ご感想などをお聞かせ下さい。今後の活動や報告書作成に反映していきたいと考えております。お手数ですが、HPかメールにてご連絡頂きますようお願い申し上げます

本誌をご覧になり、私たちの活動にご興味も持たれた方からのご連絡も心よりお待ちしております。

本誌のご意見・ご感想等はこちらまでお願い致します ・HP メールフォーム http://yankare.com/applicat

・メールアドレス <u>info@kjs-yc.com</u>

*本誌へのご意見や協働事業のご提案等の連絡先です。 教養講座・セミナー等の受付は事務局までお願い致します。

事務局:静岡市清水区船原二丁目 125 番地 E-mail: youngcollege2005@r6.dion.ne.jp